

「ディープテック・スタートアップ支援基金」
ディープテック・スタートアップ支援事業」公募要領変更のポイント

2023年6月19日

2023年第2回公募（2023年8月31日正午締切）における公募要領では、2023年第1回公募（2023年5月25日正午締切）における公募要領と比較して、主に以下の点を変更しておりますので、ご注意ください。

- PCA フェーズを実施したのち、ステージゲート審査を経て、連続して DMP フェーズを実施する場合、助成金額の合計の上限を 25 億円としておりましたが、その記載を削除しました（上限は、30 億円となります）。

旧	新
※3：PCA フェーズを実施したのち、ステージゲート審査を経て、連続して DMP フェーズを実施する場合、PCA フェーズと DMP フェーズの助成金額の合計の上限を 25 億円とする。	(削除)

該当箇所：2. (4) ③各フェーズの助成事業期間、NEDO 負担率、助成金額上限（公募要領 P5）

- パートナーVC の要件について、所定の期間内に投資を実施する者のうち、過去の投資分を含めて VC 等や CVC の中で最大株主持株比率になる者も対象となる旨を明記しました。

旧	新
ii. 提案者が本支援事業に応募する時点での、提案者の資金調達ラウンドにおいて、原則、①当該資金調達ラウンドで最大の投資を行う、②出資者側の代表として提案者と適用株価の交渉を行う、③対象助成期間において実施者に対し事業目的に沿ったハンズオン支援を行うこと。また、望ましくは、④提案者が本支援事業に応募する時点での資金調達ラウンドの次の資金調達ラウンドが成立するための資金調達活動の支援を行うこと。	ii. 提案者が本支援事業に応募する時点での、提案者の資金調達ラウンドにおいて、当該資金調達ラウンドで最大の金額や株式持分比率で投資を行う者、または、 <u>当該資金調達ラウンドで投資をすれば、最大出資者で無くとも過去の投資分を含めて VC 等や CVC の中で最大株主持株比率になる者であること。</u> また、対象助成期間において実施者に対し事業目的に沿ったハンズオン支援を行う能力を有すること。また、望ましくは、提案者が本支援事業に応募する時点での資金調達ラウンドの次の資金調達ラウンドが成立するための資金調達活動の支援を行う能力を有すること。

該当箇所：2. (7) ①各パートナーVC の要件（公募要領 P8）

- その他、事業内容に変更がない範囲で、項目の再整理や用語の修正などを随時実施しております。

※なお、本事業への応募に必要となる、所定の期間内に行われる出資について、株式に転換可能なコンバーティブルな証券（コンバーティブルエクイティ、コンバーティブルボンド、コンバーティブルノート等）を含むこととしておりますが、このうち、コンバーティブルエクイティ以外のものについては、出資ではなく融資とみなすように変更することを検討しております。この変更は、2023年度第3回公募以降に適用することを検討しております。

以上